

竜神中学校の生徒が職場体験にやってきました!

9月17日、18日の2日間、竜神中学校の生徒(大濱吏貢さん)が議会局へ職場体験学習にやってきました。大濱さんは、豊田市の政策や市民の意見を聞きながら活動する議員に興味があり、今回、議会局での職場体験を希望してくれました。

職場体験学習では、議会の傍聴や議会運営の準備、議員へのインタビューなど、様々な経験をさせていただきました。

議会局での職場体験を終えて(大濱さんの感想)

豊田市議会局に職場体験に行かせていただきました。議会局の仕事をさせていただいたり委員会を傍聴させていただいたりするにあたって、議員の方々や議会局の方々が豊田市のまちづくりを円滑に進めるためにたくさんの準備をされていると知りました。また、杉本寛文議員から貴重なお時間を頂き、インタビューをさせていただきました。杉本議員から自分の周りの人を好きになり、受け入れることや今を一生懸命生きて、支えてくれる人に感謝することが大事だと教わりました。このように誠意をもって豊田市のまちづくりに携わっている議員の方々や議会局の方々に強い憧れを抱きました。

この経験を自分の糧にして、日々を大切に学校生活を過ごしたいです。



地元の杉本議員へのインタビュー風景



議会事務の風景

市議会の予定 12月市議会定例会は、11月29日(金)開会予定です

■請願・陳情の提出期限/12月定例会で審査を希望される場合は、11月18日(月)午後5時までにご提出ください。

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会 ホームページで ▶ インターネット放送 <http://toyota-shigikai.jp/>
 「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。 ▶ <http://toyota-shigikai.jp/movie.html>
 ※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。

ケーブルテレビで ▶ ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/122ch(ひまわり12サブチャンネル)

FMラジオで ▶ FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会局
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

とよた市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.180



三河湖観光センター リニューアルオープン

11月3日(日)からご利用可能となります

目次

■ トップインフォメーション	行政視察	2
■ 議案審議結果	条例の一部改正など	4
■ 議決説明・討論		5
■ 常任委員会	付託案件を審査	6
■ 一般質問	市政を問う! 19人の議員が質問	8
■ トピックス	竜神中学校の生徒が職場体験にやってきました!	12

9月市議会 定例会号

令和6年 11月1日

行政視察

先進都市の取組を視察し、市に提言していきます。



議会が開催されていないときでも議員は地域の活動に参加したり、多くの仕事を行っています。今回ご紹介させていただくのは、市政の課題や、検討していかなくてはならないことについて、既に実施している先進都市を委員会(テーマ)ごとに視察し、今後の市政に役立てるよう、報告書をまとめ、所管の部署へ情報提供したり、本会議や委員会での質疑や、提言に生かし、市政に反映していきます。

企画総務委員会 都市OSを活用したデジタルサービス

- 7月16日 / 福島県会津若松市
データ連携基盤である都市OSを活用し、ヘルスケア、行政、観光、防災、決済、食・農の6分野でデータ連携と付加価値の創出につながる市のデジタルサービスを実装。行政分野でデジタル申請やデジタル地域通貨によるキャッシュレスを普及させ、地域全体の生産性向上を図っている。本市の更なるデジタル化の充実に資するものと期待する。
- 7月17日 / 福島県郡山市
連携中枢都市構想
- 7月18日 / 東京都足立区
高架下 No Border LAB



スマートシティAiCT (会津若松市)

教育社会委員会 子どもの夢を育む施設こむこむ館

- 7月9日 / 宮城県仙台市
教職員の働き方改革、部活動の地域移行
- 7月10日 / 福島県福島市
福島市では、科学知識・芸術文化の普及と向上、次代を担う創造性豊かな子どもの育成に寄与することを目的とした教育文化複合施設としてこむこむ館が開館した。視察を通して、本市における生涯学習施設の充実に資するものとする。
- 7月11日 / 埼玉県さいたま市
不登校等児童生徒支援センター (Growth)



教育文化複合施設・こむこむ館 (福島市)

先進的介護「北九州モデル」



北九州市役所

環境福祉委員会

- 7月23日 / 大阪府堺市
ダブルケア支援の取組
- 7月24日 / 福岡県北九州市
少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴い、介護人材不足の深刻化が懸念されている。北九州市の取組は、「時間を生み出す介護」をコンセプトとしており、本市における介護制度の質の向上、介護現場の新たな働き方の構築に資するものとする。
- 7月25日 / 京都府京都市
脱炭素先行地域の取組

雨水整備レインボープラン博多と令和5年7月豪雨の状況 地域生活委員会



山王雨水調整池 (福岡市)

- 7月9日 / 福岡県福岡市
平成11年及び平成15年の集中豪雨により、天神周辺地区で大きな浸水被害が発生している。これらの経験から浸水対策事業・雨水整備レインボープラン博多として、山王雨水調整池をはじめとした総合的な施設整備を進めたことにより、その後の豪雨発生時においては市内中心部の浸水被害の軽減につながっている。本市でも災害に強いまちづくりを進めており、検討に資するものとする。
- 7月10日 / 福岡県糟屋郡粕屋町
IoTを活用した子どもの見守り
- 7月11日 / 鹿児島県鹿児島市
ジョブケーション型お試し移住プログラム

産業建設委員会 卸売市場の再整備と先進施設の見学

- 7月30日 / 千葉県成田市
成田市公設地方卸売市場は、成田空港隣接地への移転・再整備事業を進め、衛生管理が徹底された閉鎖型施設で、国内外へ食を提供する日本初の輸出拠点等の特徴とし、令和4年1月20日にリニューアルオープンした。新生成田市場の再整備事業の手法等を学び、本市の卸売市場全面建て替え再整備の実施に向けた事業手法等の検討に資するものとする。
- 7月31日 / 福島県双葉郡浪江町
スマートコミュニティ構築事業
- 8月1日 / 埼玉県川越市
文化創造インキュベーション施設 (コエトコ)



成田市公設地方卸売市場

常任委員会とは 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

9月12日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第95号】 工事請負契約の締結（豊田スタジアム長寿命化改修電気工事）

【第96号】 工事請負契約の締結（豊田スタジアム長寿命化改修空調・管工事）

質問 今回の改修工事で実施した工夫や改善点によって、具体的にどれだけのコストダウンとなったか。

答弁 イニシャルコストとして、既設と同じ仕様で更新する場合と今回の設計を比較した場合、電気工事の発電設備では約4億3千万円、空調・管工事のろ過設備では約1億9千万円の削減になると試算している。

質問 工事による市民及びWRCへの影響はどのようか。

答弁 市民への影響では、スポーツプラザの利用停止として、必要最小限の2週間程度を予定していること、また、WRCやJリーグ等の大型イベントは、工事を休止することになっているため、影響は無いと考えている。

また、ろ過設備については、1台ずつ段階的に更新することで、利用者への影響が出ないよう配慮している。

イベント等の予定変更にも対応できるように、余裕のある工期を設定しており、工事の休止や施設の利用停止については、市、受注者、スタジアム関係者と協議の上、利用者への影響が極力少なくなるよう対応していく。

環境福祉 委員会

9月13日、付託された1議案を審査し、議案を全会一致にて承認しました。

【第105号】 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議

質問 新規にマイナンバーカードを申請する場合は、同時にマイナ保険証の登録ができるが、既にマイナンバーカードを保持している方はどこでマイナ保険証の登録を行うのか、また電子登録はできるのか。

答弁 マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、初回のみ登録が必要で、医療機関や薬局の窓口には設置されている顔認証つきカードリーダー、または、セブン銀行のATMで行えるほか、東庁舎1階の福祉医療課窓口、もしくは東庁舎5階のマイナンバー交付窓口で行うことができる。また、マイナンバーカードの読み取りに対応している必要があるが、スマートフォンやパソコンでマイナポータルアプリからも登録を行うことができる。

質問 限度額適用認定証等に係る申請や提示に関して、従来の制度から変更があるのか。

答弁 限度額適用認定証等について、令和6年12月1日まではこれまでどおり紙の証が発行されるが、令和6年12月2日以降廃止され、12月2日以降に新たに申請される方はマイナ保険証の有無によって申請等が異なる。マイナ保険証を保有している方は、マイナ保険証を医療機関等の窓口で提示することで、オンライン資格確認により負担区分が確認でき、マイナ保険証を保有していない方は、申請により負担区分が資格確認書に追記されるため、負担区分の記載された資格確認書を医療機関で提示することとなる。

教育社会 委員会

9月17日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第90号】 保育所条例の一部改正条例

質問 トヨタこども園・平山こども園それぞれの0から2歳児の定員の考え方はどのようか。

答弁 両園とも既存の園舎を活用して保育所に変更するため、各園の施設規模に応じて0から2歳児の定員を設定する。トヨタこども園は、現在ある4教室のうち、1教室を乳児室に割り当てるもので、教室の面積から乳児定員16名とし、平山こども園は7教室のうち、2教室を乳児室に割り当てるため、定員を32名とする。



こども園イメージ

【第101号】 財産の取得（市立青木小学校ほか54校 体育館・武道場空調設備）

質問 避難所として使用時の空調操作は誰が行うのか、また操作マニュアルは整備されるのか。

答弁 避難所として使用する際は、避難所運営班として配備される市の職員が中心となって操作をしていくと考えており、今後、防災部局と連携し、操作マニュアルの作成を進めていきたいと考えている。

地域生活 委員会

9月18日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第97号】 製造請負契約の締結（高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線製造）

質問 消防指令システムとNet119などの外部システムや業務系ネットワークと連携することにより、職員の負担が軽減される内容はどのようか。

答弁 外部システム連携では、これまではNet119などの別システムと消防指令システムの間で災害場所や通報内容などの情報が共有できなかったため、一人が移動して操作を行う場合や、2人で協力して作業を行う場合があったが、システム更新後は消防指令システム上で別システムの操作ができるようになる。

また、業務系ネットワーク連携では、これまでは、出勤報告書の作成事務など専用のパソコンと業務用パソコンの2台でそれぞれ事務作業を行う必要があったが、システム更新後はこれらを業務用パソコン1台で行うことができるため、外部記録媒体によるデータ移送作業が不要となり、職員の負担が軽減できる。

【第104号】 指定管理者の指定（三河湖観光センター）

質問 株式会社香恋の里を指定管理者として指定することで、期待される効果はどのようか。

答弁 株式会社香恋の里が長年築いてきた民間事業者や地域住民とのネットワークを活用し、キッチンカー事業をはじめマルシェや音楽会などの各種イベントを実施することで、訪れる誰もが楽しめる施設運営になることを期待している。

また、株式会社香恋の里が既に管理している香恋の館や手づくり工房山遊里などと包括的な管理運営を行うことで、設備点検などに係る維持管理経費を抑えるとともに、これら施設と一体的に観光情報を発信することで、より効果的な情報発信につながることを期待している。

企画総務 委員会

9月19日、付託された6議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第87号】 手数料条例の一部改正条例

質問 10月からの運用にあたり、周知活動の一環として関係者への説明会を開催したと聞いているが、出席者からの意見はどのようか。また、意見を踏まえた対応はどのようか。

答弁 説明会の出席者等からは、盛土等を行う事業者だけでなく、土石等を一時的に堆積する事業者への周知も必要であるとの意見があった。これらの意見を踏まえ、宅地造成事業者等のほかにプラントなど、土石等を一時的に堆積する事業者へも幅広く周知を行った。

【第91号】 国民健康保険条例の一部を改正する条例

質問 今回の条例改正は、マイナンバーカードと国民健康保険被保険者証の一体化による、現行の被保険者証の廃止と理解しているが、今後、マイナ保険証として登録している方、していない方で、被保険者の受診方法は変わるのか。

答弁 マイナンバーカードと被保険者証の利用登録がされた、いわゆるマイナ保険証をお持ちの方は、限度額認定証や高齢受給者証の情報もマイナ保険証に紐づけられているため、マイナンバーカード1枚で引き続き受診が可能である。

次に、マイナ保険証をお持ちでない方は、現行の紙の被保険者証で令和7年7月31日まで受診できるが、それ以降は、新たに送付する資格確認書で受診することが可能である。また、令和6年12月2日以降は、現行の紙の被保険者証の新規発行がされないため、新たに国民健康保険に加入した場合などの際に、マイナ保険証をお持ちでない場合は、資格確認書の交付を受けて受診することとなる。

予算決算 委員会

9月9日から9月25日までに付託された補正予算5件及び各会計決算13件を審査し全ての案件を承認、又は認定しました。

【第93号】 令和6年度一般会計補正予算

《債務負担行為補正》
世界ラリー選手権開催負担事業

質問 3年間の債務負担行為の期間中、豊田スタジアムでの開催についての考えはどのようか。

答弁 ラリーの競技コースとして、豊田スタジアム内のピッチは使用しない予定である。

ただし、車両の整備などを行うサービスパークとして、引き続き駐車場やイベント広場、スタジアム内のコンコースを使用する予定である。いずれも正式には実行委員会での決定となる。

【承認第5号】 令和5年度一般会計決算

《歳出4款1項1目》
豊田地域医療センター運営費負担金

質問 アレルギーセンターを令和5年10月に開設したが、その役割、その後の経過や効果はどのようか。

答弁 豊田地域医療センターは、アレルギーセンターの主な役割を診療の充実、人材の育成、普及啓発としている。その後の経過は、アレルギーセンターの開設以降、各診療科においてアレルギー診療を行うとともに、令和6年4月のアレルギー科新設に向けた医師の確保、職員を対象としたアレルギー検査の勉強会などを行ってきた。

また、令和5年10月にはアレルギーセンターの開設記念講演会を開催し、200人以上の方が参加するなど、普及啓発にも取り組んできた。効果は、原因が分からない、症状が重いなど、悩みを抱える患者の方がアレルギーセンターの開設により、市内で専門的な治療を受けられるようになったことと認識している。

市政を問う!

9月2日から9月4日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団 新しい風：新しい風とよた 諸派：会派所属無

浅井保孝

自民クラブ



- みんなで支え合う地域社会づくりの現状と課題
- 将来を担う子どもたちのための教育環境づくり

質問 児童生徒数減少に対する教育環境の整備

少子化問題に対し、本市も会議体での検討が必要と考える。適正な学校規模に関する検討がされているかを問う。

答弁 教育部

平成20年3月に「学校規模の適正化に関する基本方針」を策定した。しかし、学習指導要領の改訂に伴う学びの変化や、更なる児童生徒数の減少などにより、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化している。よりよい教育環境を実現するため、豊田市教育行政計画審議会の中に学校規模の適正化に関する専門部会を設け、令和6年度末に現在の学校規模の適正化に関する基本方針を改定するよう検討を行っている。

北川敏崇

自民クラブ



- 緊急輸送道路における防災対策
- 道路施設における予防保全型管理の推進

質問 緊急輸送道路の無電柱化の推進

国県道について無電柱化事業が進められている。市管理の緊急輸送道路の無電柱化の推進をどう進めるか問う。

答弁 建設部

緊急輸送道路の無電柱化は、防災機能の向上や災害被害の拡大防止の観点から、必要不可欠な対策と捉えている。緊急輸送道路においては、道路法第37条の規定に基づき、電柱の占用制限を行い、新たな電柱の

増加を抑制している。事業推進としては、道路事業と同時に整備することで効率的な推進を図るとともに、コスト削減や工期短縮手法を検討しており、区間ごとの優先順位の検討を進め、計画的に推進していく必要があると考えている。

日當浩介

市民フォーラム



- 地域の存続を支える公共交通への取組
- 市民により近い市政情報発信への取組

質問 おいでんバス無料化に向けた取組

山間地域の高校生の通学費支援と更なる利用促進を公言した政策の具体的な内容とその方針について問う。

答弁 市長

無料化の目的は広大な市域において移動を活性化させることである。実現に向けては多くの課題があり、関係機関との協議調整に検討を要するため、段階的に取り組んでいく。一方、山間地域等の移住定住、交流促進は喫緊の課題であるため、一定の負担をお願いしながら公平性の視点も考慮した高校生のバス通学に係る費用負担の軽減に取り組んでおり、令和7年4月から実施できるよう制度設計を進めている。

山本義勝

市民フォーラム



- 持続可能な地域クラブ活動の実現

質問 将来を見据えた環境整備

本市でも独自の人材バンクを創設することが必要。現在の状況を踏まえ、独自の人材バンクの必要性について問う。

答弁 生涯活躍部

あいち地域クラブ活動人材バンクの活用により、一定の効果は生まれているが、令和8年度の地域移行に向けては、まだまだ指導者の確保が必要であるため、本市独自の人材バンクを創設する。本市独自の人材バンクは人材を発掘するだけでなく、登録し、管理する機能を設けていく。これにより、確実に指導できる人材を確保し、人材が必要な地域に必要なタイミングで指導者を派遣することが可能となるため、早急に整備を進めていく。

鈴木章

自民クラブ



- 山村部合併20年の検証と9次総合計画での取組

質問 今後の山村地域のまちづくりの考え

山村地域には、総合的な監督機関を設置することが必要だと考えるが、どのように考えているのか具体的な組織体制を問う。

答弁 総務部

現在、第9次豊田市総合計画を着実に推進するための組織改編を検討している。具体的には、これまでの企画政策部のおいでん・さんそん担当、地域振興部の山村振興担当、都市整備部の山村地域の定住施策などを集約し、山村地域のまちづくりを横断的に見渡すとともに、統括役として支所や関係部署との連携を強固なものとする新たな体制づくりに向けて着手しているところである。



美しい山村地域への定住施策を促進

深津秀仁

自民クラブ



- 災害廃棄物の対応
- 中山間地域の持続可能な農業

質問 持続可能な中山間地域の農業

中山間地域の農業を守るため、起業支援の拡充に加え、公社や生産法人の設立などの支援策に対する考え方を問う。

答弁 産業部

あいち豊田農業協同組合が令和4年度に「営農サポートセンター」を設立した。中山間地域の農業者のサポートを開始するなかで、当該センターで活用する農業機械の導入を支援し、農ライフ創生センターの山間営農科では、地域に適した農作物栽培技術研修を通じて地域の農業者を育成している。こうした取組を推進するほか、公社や生産法人といった体制や先進的取組事例などを念頭に、地域実情に応じた中山間地域農業の振興を図っていく。

中村孝浩

市民フォーラム



- 高齢者の生活支援サービスの充実

質問 多様な移動支援の拡大

スポンサーバンクを設けるべきと考えるが、コミュニティ・カーシェアリング拡大に向けての取組を問う。

答弁 都市整備部

コミュニティ・カーシェアリングの活動に対する地域事業者からの協賛制度については、(一社)日本カーシェアリング協会において既に運用されている。今後、地域によって事業者が存在しないことや事業者からの

賛同が得られずに、運営資金の確保が難しいといったケースが想定される。スポンサーバンクについては有効な手段の1つとして認識している。地域や事業者等から意見を聞き、運営方法やメリット・デメリットを含めて幅広く研究していきたい。

安藤寿昭

自民クラブ



- 豊田市民の大切な水を守る
- みらいの林業を守る山林教育

質問 森林環境譲与税の有効活用

税金が何のために使われているか認識していない市民もいると考えるが、森林環境譲与税の市民理解に向けた考えを問う。

答弁 産業部

森林環境譲与税の市民への理解促進については、その用途についてわかりやすく説明をする一方で、森づくり月間である10月に開催予定の森林啓発事業や、森の総合サイト「Tomori」などを活用して、豊かな森林があることの恩恵を実感していただけるような情報発信に努めている。



森の総合サイトTomoriホームページ

塩谷雅樹

市民フォーラム



- 放課後児童健全育成事業の充実に向けた取組

質問 こども・保護者のニーズ

令和7年度から放課後児童クラブ

全学年受入れの経緯と理由及び、全クラブ同時の受入れとなるかなど想定する課題を問う。

答弁 こども・若者部

増加する共働き世帯への対応、高学年の子どもを持つ保護者の不安解消、子どもの成長にとって同年齢・異年齢の子ども同士の関わりの大切さなど、総合的に判断し、令和7年度から全学年を受け入れる判断に至った。全学年の子ども達が安心して過ごせる環境を整えるため、人員と場所の確保、高学年を担当する支援員・補助員のスキルの向上が主な課題であると認識している。申込受付は全クラブ同時に行うが、1から4年生の受入を優先する。

寺田康生

自民クラブ



- NEXT GIGAに向けての取組

質問 NEXT GIGAに向けた取組

教育データの利活用に関するガイドラインの策定を早期に実施すべきと考えるが、本市の考えを問う。

答弁 教育部

教育委員会では、令和5年4月より、豊田市教育情報セキュリティポリシーを施行し、その中で、教育データの重要性分類やメールの送受信の際のルール等、利活用に関する内容を定めて運用している。今後、次期の学校教育の情報化プランを作成する中で、教育データの更なる利活用についても検討を進め、外部との連携を想定される場合は、ガイドラインについても関係各課と調整を図って策定していく。

市政を問う!

議員氏名
会派名

QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局長
質問に対する市の担当部局の回答

西田ひさよ
新しい風

- 本気の子宮頸がん予防
- より適正な「わくわく事業」審査に

質問 HPVワクチン接種の取組

副反応の実態などの情報を追加し、対象者がメリットに偏った情報で判断しなくてはならない現状を改善する考えを問う。

答弁 保健部

HPVワクチンは、予防接種法上のA類疾病に係る定期接種として、対象者の誰もが受けるべきと認識している。一方、稀に一定の確率で副反応や健康被害が発生することも事実であり、対象者自身が十分に理解し納得すべきと認識している。本市では、豊田加茂医師会と連携し、予防接種を実施する医療機関において、医学的な説明の実施体制を整備し、専門の窓口も設けており、全ての対象者が接種を主体的に判断できる環境を、引き続き確保していく。

中村竹夫
自民クラブ

- 救急の対応力強化
- 安心して預けられる保育

質問 保育士の働き方改革

DX化を進めることで保育の質も向上すると考えるが、保育士の負担軽減のための今後のDXの方向性を問う。

答弁 子ども・若者部

子ども家庭庁から、子ども政策DXの推進に向けた取組方針が示された。子ども政策DXは、取組の一つに「保育DXによる現場の負担軽減」が掲げられる。導入している保育業務

支援システムのほか、データ連携により、更なるデジタル活用が進められる。午睡センサーやAI見守りカメラなど、安全対策に資する設備等の導入も示されている。今後、国において共通基盤となるシステム構築やデータの標準化が進められる。国の動向を注視し、適宜DX化を推進する。

石川嘉仁
自民クラブ

- 将来を見据えた土地利用への取組と考

質問 定住促進に繋がる土地利用への取組と考

民間のノウハウを活用し、業務用跡地や空き店舗の活用を促すことが必要と考えるが、本市の考えを問う。

答弁 企画政策部

業務用地等の跡地や空き店舗等については、既に都市的土地利用への転換が図られた宅地として、有効活用をしていく必要があると認識している。有効活用に当たっては、土地利用規制等の趣旨を踏まえつつ、法令や基準に定められた現行制度の範囲での対応を基本とし、社会情勢や地域特性に応じた課題、そして周辺地域への影響等を的確に把握した上で、個別に判断していく必要があると考えている。

田代 研
公明党

- 健康寿命の延伸
- 気象防災アドバイザーの活用

質問 今後の気象防災アドバイザー

気象防災アドバイザーを常駐職員として採用または育成することが必要と考えるが、本市の考えを問う。

答弁 地域振興部

災害時における防災気象情報の提供や警報・注意報発表基準へのアドバイス等、必要に応じて対応していただく現在の任用形態が、気象防災アドバイザーの負担やコストの観点から、最も効果的であると考えている。そのため、気象防災アドバイザーの常駐化については、現時点では考えていないが、常駐化している他自治体の状況や課題を整理し、今後の任用形態について検討していく。



気象防災アドバイザーイメージ

海老澤要造
自民クラブ

- 災害時の復旧・復興に備えた地籍調査の進め方
- 大規模な災害に備えた防災対策

質問 大規模な災害時の孤立集落を想定した防災対応

毎年担当地域に出向いた防災体制の確認と、災害対策副本部長を中心とした現地での災害訓練の実施について問う。

答弁 地域振興部

豊田市地域防災計画では、土砂災害など地域の災害特性に応じて集中的に災害対応を実施する場合には、被災した地域に現地災害対策本部を設置し、災害対策副本部長である副市長等が、事務の総括や職員の指揮監督をすることとしている。現在策定している「第2次豊田市災害対策推進計画」では、令和6年能登半島地震において被災集落の孤立対策が

課題になったことを踏まえ、現地災害対策本部訓練の実施を掲載することを考えている。

武田一夫
市民フォーラム

- 健康づくりの取組

質問 「健康づくりの輪を広げる」取組

「身近な場所で体を動かせる」視点を持ったまちづくりの取組が必要と考えるが、本市の考えを問う。

答弁 都市整備部

体を動かせる身近な場所として、主に市街化区域において、近隣住民が歩いて行ける区域に公園を計画し、できる限り公園空白地が無いように都市公園を整備している。また、市街化調整区域においては、地域核周辺など、多くの住宅がある地域において、都市公園を補完する地域広場を自治体の要望に基づき設置している。近年、子どもから高齢者まで誰でも利用できる遊具があり、利用状況に応じてその活用も検討する必要があると認識している。

兵藤慎也
自民クラブ

- 豊田市地域公共交通の今後の取組と考
- 未来へつなげる公共交通

質問 バス運転手の確保・維持

安定した公共交通の体制整備として、事業者と歩調を合わせながら、今から備えるべきと考えるが、本市の考えを問う。

答弁 都市整備部

おいでんバス、地域バスの一部において、市で所有する車両を事業者に貸与し、運行している路線はある

ものの、運行は全て事業者が雇用する運転手が行っている。運転手の確保は、業界全体として取り組む課題も多く、人手不足は運輸業界のみならず、全ての業界が抱える共通した課題であると認識している。現状を踏まえ、交通局の設置については、一つの意見として受け止め、引き続き公共交通を安定して供給し続けられる体制を整えていく。

岡田耕一
新しい風

- 暴論!豊田市版少子化対策

質問 本市独自の少子化対策(その他編)

少子化対策は国で一律的に行うべきと考えるが、少子化対策に対する太田市長の思いと国県へ訴えたいことについて問う。

答弁 子ども・若者部

少子化は日本全体の大きな問題であり、地域社会の持続可能性にも深く関わる問題である。また、少子化対策を進めるにあたっては、国・地方公共団体・企業の連携が非常に重要であるため、国・県に対して長期的な視点での予算確保、雇用の安定、賃金の改善、働き方改革など企業と連携した取組の更なる強化をお願いする。本市の実情や課題に応じた対策の充実を図り、子どもを産み、育てることを希望する人々が安心できるよう取組を行う。

根本美春
諸派

- 交通結節点としての豊田市駅と駅前整備
- ラケーションの状況と対応

質問 豊田市駅東口駅前広場

東口駅前広場設置によりバス停か

ら豊田市駅への距離や時間、動線が変わると考えるが、バス利用者の影響と意見の把握について問う。

答弁 都市整備部

豊田市駅東口駅前広場は、駅前広場周辺に設置予定のバス停の利用者が、豊田市駅を利用する場合の歩行者動線上となるため、まちなか広場の利用者と錯綜しないように広場機能を配置するなど、安全・安心で円滑に移動できる歩行空間を確保していく。バス利用者の意見については、令和4年に実施した2回の交通実証実験においてアンケートを実施し、意見を把握している。

市議会にお越しください

●議会の傍聴

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後、会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会局まで書面でお申し込みください。



★代表・一般質問の質問者や質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。

傍聴受付 ※会議が始まる30分前から受付

本会議→市役所南庁舎8階
委員会→同7階委員会室前

●お問い合わせ

豊田市議会局(豊田市役所・南庁舎6F)
TEL.0565-34-6665 FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp